

## 本時のねらい

栄養バランスが良い食事を提案できるようになる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ①WEB サイトにある、栄養バランスを簡易的にチェックするツールを使用することができる。
- ②発表時に、画像共有することで言語のみではなく視覚的に情報を共有することができる。
- ③タブレット PC を用いて、発表（提案）する力を養う。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートへ送られてきた URL をクリックし、栄養バランスを簡易的にチェックし、結果の画面をショートカットキー〔Ctrl+V など〕を使用して画像保存をし、ロイロノートへ貼り付けする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで以下の URL を送付する。 <a href="https://www.chantotaberu.jp/jikan/balance/">https://www.chantotaberu.jp/jikan/balance/</a> 食育授業支援事務局（NPO 法人企業教育研究会内）</li> <li>・実際の画像保存の使用方法について、スクリーンに投影して説明を行う。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで 1 つの画像（栄養バランスチェッカーの結果内容）を確認して、栄養バランスが良い食事になるような提案をグループで考えて、ロイロノートでまとめる。</li> <li>→過剰部分の食材の確認と何を減らすか</li> <li>→不足部分の食材の確認と何を追加するか を考える</li> <li>・各グループで提案内容をグループ内に共有し発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで、まとめるための材料（シート）を送付する。</li> <li>・ロイロノートの共有機能で、同じ班のメンバーと提案内容を共有する。</li> <li>・発表者の画面を前に表示する。</li> <li>・各班の比較画像を配信する。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の発表を参考に、再度、栄養バランスチェッカーを使用して自分なりの 1 日分のバランスの良い献立を立てて、画像保存し提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートの提出箱へ画像を提出させる。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：各自の食事の栄養バランスを調べている様子

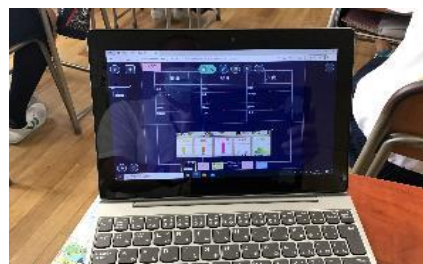


写真 2：グループで考えた栄養バランスのよい食事メニューを、各自の端末で表示させている様子



写真 3：各班の栄養バランスのよい食事の様子（比較画面）を、各生徒端末に画面配信している様子

## 児童生徒の反応や変容

栄養バランスチェッカーは簡易なものだが、自分が食べている食事の栄養バランスが簡単にわかるので、いろいろなメニューで確認する様子が見られた。また、ショートカットキーは初めて使用する様子であったが、使用して驚きの声も上がっていた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

各個人で考えたメニューで栄養バランスチェッカーの簡単な結果が見られるので授業の導入などで活用ができる。また、ショートカットキーについては、他の授業でも活用できることはもちろん、将来、様々な場面で使用でき、PC 活用における有効なスキルであるといえる。